

これの神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に
慎んで申し上げます

“日々ををやの思案と云うものわ 救ける模様ばかり思うてる”
と仰せ下さいましたが 私達は早くから“月日のやしる”で
あり“ひながたの親”なる教祖の道具衆としてお引き寄せ頂
き 洵に感謝の念に堪えません

その中にも今日の吉き日は これの の 日
柄に当たりますので 只今から一手一つに勇んで陽氣づとめ
を勤めさせて頂きます

さて静かに私達の周囲を見ると 今尚身上や事情の悩みに苦
しんでいる人々が数多く居ます それはお道のおつとめは勿
論のこと 教祖ひながたの道をも知らないからであります
おかきさげに示された

“人を救ける心は真の誠一つの理で 救ける理が救かる”
との御教を新たに心に刻みつゝ 私達は陽氣づくめの世の実
現を期して 勇んで世界だすけの歩みを一手一つに進めねば
なりません

また よふぼく一人ひとりが誠の心で通るところ 内々は自
づと睦まじく治まり 世の人々にも成程の理が映り 土地所
に陽氣づくめの輪が次第に拡がっていくことにもなります
私達は教祖のひながたを目標として 身近に誠の道を踏み行
い 一層「今から救けするのやで」と世界ろくじに踏み均し
六九年一月二十六日のお迎えする教祖百二十年祭を成人の節
目として真実を集め 力を尽くされた先人達の上に更なる実
を積み重ねるべく 一手一つとなって勤め切らせて頂きます
今後とも陽氣ぐらし世界建設に向かつて一段とお導き下さい
ますよう 一同と共に慎んでお願い申し上げます